

第3回

参加費：無料 募集定員：対面15名

4 質の高い教育を
みんなに



地域社会の多様性を考える日本語教育研究会

日本語教育研究会について

●研究会代表 服部 明子

三重大学 教育学部・教育学研究科 准教授

三重県内の外国人就労者数は年々増加しており、居住する外国人の方々が、日本人と一緒に日常の社会生活を安心して円滑に過ごせる環境を社会全体が整備することに取り組む必要があります。本研究会では、地域の日本語教育に関する幅広いテーマを取り上げ、講演会およびワークショップ開催を通じ、北勢地域の企業や市民の皆様への専門的な知見の提供に加え、関係組織間を結ぶ連携基盤を構築し、地域社会を下支えすることを目指しています。

第3回 開催概要

日時 2022年12月10日(土) 14時00分～17時00分

場所 ユマニテックプラザ・3階 306研修室
〔四日市市鶴の森1丁目4-28〕

対象 外国人社員への日本語研修に関心のある
企業の方、日本語教育に関心がある方

内容 【第1部 講演(ハイブリッド開催)】 14時05分～15時05分

「三重の外国籍住民医療の現状と未来」

外国籍住民割合が日本で4位である三重県の外国語話者への医療サービスに関する現状と海外の医療への支援を含めた将来への課題や目標について、実体験を含めてお話をさせていただきます。

〔講師〕 三重大学大学院医学系研究科 形成外科学分野 成島 三長 教授

H13年3月 三重大学医学部卒業
H15年4月 福島県立医科大学 形成外科
H16年4月 名古屋第1赤十字病院 形成外科
H17年4月 東京大学医学部附属病院 形成外科
H29年4月 三重大学医学部 形成外科 教授

国際関連役職
三重大学医学部附属病院国際医療支援センター センター長
三重大学医学部地域国際委員会 委員
三重大学国際戦略本部会議 委員
国立大学病院長会議 国際化協議会 委員



【第2部 ワークショップ(会場のみ)】 15時15分～16時30分

「医療場面で使おう、やさしい日本語」

医療の場面・文脈で、外国籍住民等に対する配慮として「やさしい日本語」がどのように活用できるかについて体験します。

〔講師〕 十文字学園女子大学 国際交流センター 稲田 朋晃 講師

- ・四日市市出身。専門は日本語教育、音声学。
- ・2002年～2006年、四日市市内の日本語ボランティア教室で、ブラジル人、ペルー人などに日本語を指導する。
- ・2017年～2020年、国際医療福祉大学にて、医師を目指す留学生のための日本語教育カリキュラムを開発。医学部留学生への日本語指導を行う。
- ・2020年より「医療従事者のためのやさしい日本語ワークショップ」にファシリテーターとして参加。
- ・現在も、医療従事者への日本語教育について研究を進めている。
- ・著書に、園田祐治・稲田朋晃ほか『医療にかかわる人のための漢字ワークブック』国書刊行会、稲田朋晃ほか「医学部留学生が臨床実習時に感じたコミュニケーション上の困難点」『医学教育』53巻第1など



【第3部 交流会(会場のみ)】 16時30分～17時00分

お申し込み
方法等

2022年12月7日(水)までに以下4つの事項をお知らせください。

- ①所属機関名・役職 ②氏名 ③連絡先(電話・E-Mail)
④対面またはオンラインのご希望、⑤当日質問したいこと

(お申し込み先) 三重大学北勢サテライト E-mail: hokusei@rscn.mie-u.ac.jp
Google form: <https://forms.gle/NB7onMc47Y6RLE7N8>

